

2歳女児踏みつけ殺害

広島 同居の男、容疑で逮捕

広島東署は25日、同居女性の長女(2)を足で踏みつけて殺害したとして、殺人の疑いで、殺人の疑いで、広島市東区山根町、コンビニ店店員(35)を逮捕した。

午前7時ごろに「様子がおかしい。動かない」と自ら119番していた。女性は別の部屋で寝ていて、気付かなかった。

逮捕容疑は25日午前3時ごろ、自宅マンションの寝室で、同居するパート従業員の女性(27)の長女尾崎朱音ちゃんの腹部を足で踏

は「マンションの近くを通る時、夏ごろから幼い子どもの『ぎゃー』という泣き声をよく聞いた。気になってはいたが、まさか。かわいそうで、かわいそうで」と話した。

容疑者(35)を逮捕した。同署によると、大筋で容疑を認めている。朱音ちゃんの背中や足には、古いものも含め複数のあざがあることから、同署は日常的な虐待があったかどうか、動機とともに調べ

現場はJR広島駅の北東約800メートルの住宅街にあるマンション。近くに住む主婦(43)

編集部注)

この記事だけでは、朱音ちゃんの父親が朱音ちゃんとの関係がどうだったのか、死別したのかもわかりませんが、もし父親が子どもと定期的に会えていれば、こうなる前に子どもの異常に気づき、虐待死は未然に防ぐことができただろうと推測されます。

朱音ちゃんのご冥福をお祈りします。